

最低賃金と採用時の最低時給に関する静岡県内企業の実態調査

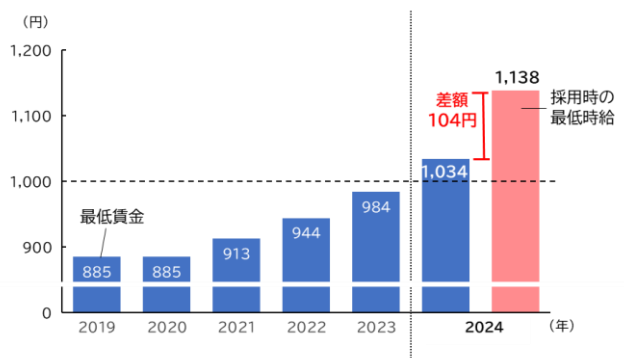
採用時の最低時給は 1,138 円 人材確保を背景に最低賃金より 104 円高い ～「東京」が唯一 1,300 円超え、「静岡県」と 200 円以上の開き～

毎年 10 月に改定される最低賃金。2024 年の全国加重平均は、2023 年より 51 円高い 1,055 円となった。

目標としていた全国加重平均 1,000 円を 2023 年に達成した政府は、次なる目標として 2030 年代半ばまでに 1,500 円を目指すことを「経済財政運営と改革の基本方針 2024」（骨太の方針 2024）で示している。

継続的な賃金の引き上げは、労働者の収入増加による消費の活性化などが期待される一方で、企業側からみると人件費上昇による収益の悪化などが懸念されている。

そこで、帝国データバンクは、最低賃金改定に対する企業の見解について、全国の企業に調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2024 年 9 月調査とともに行い、全国調査分から静岡県内企業を抽出して分析した。

最低賃金と採用時の最低時給（静岡県）


※ 採用時最低時給（平均値）は、小数点第 1 位を四捨五入している（日給、週給、月給の場合、時給に換算）

※ 調査期間は 2024 年 9 月 13 日～30 日、調査対象は静岡県内企業 780 社で、有効回答企業数は 337 社（回答率 43.2%）

※ 本調査における詳細データは、帝国データバンクホームページ (<https://www.tdb.co.jp>) のレポートカテゴリにある協力先専用コンテンツに掲載している

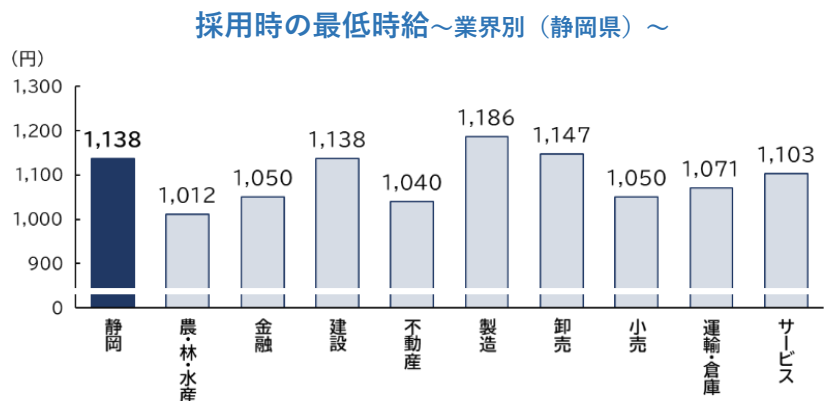
調査結果（要旨）

- 従業員採用時の最低時給は平均 1,138 円、2024 年改定の最低賃金を 104 円上回る
- 業界別では、『製造』が 1,186 円でトップ
- 「東京都」は 1,340 円で唯一 1,300 円超、「静岡県」と 200 円以上の開き

1. 従業員採用時の最も低い時給は平均 1,138 円、最低賃金時間額を 104 円上回る

正社員、非正規社員を問わず、従業員を採用するときの最も低い時給を尋ねたところ、全体平均は 1,138 円となり、改定後の最低賃金の加重平均 1,034 円を 104 円上回った。

業界別では、『製造』が 1,186 円でトップとなった。以下、『卸売』(1,147 円)、『建設』(1,138 円)が続き、3 業界で静岡県全体の平均以上となった。他方、『農・林・水産』は 1,012 円にとどまり、2024 年の最低賃金 1,034 円を下回り、業界間で大きな差があることが分かった。



2. 都道府県別、「東京都」は 1,340 円で唯一 1,300 円超、「静岡県」と 200 円以上の開き

正社員、非正規社員を問わず、採用時の最低時給を都道府県別で比較すると、最も高かったのは「東京」の 1,340 円で、全国で唯一 1,300 円を超えた。以下、「神奈川」(1,277 円)、「大阪」(1,269 円)、「愛知」(1,208 円)、「埼玉」(1,205 円)と続き、「千葉」(1,202 円)の 5 府県で 1,200 円台となった。「静岡」との比較では、「東京」と 200 円以上、「神奈川」と「大阪」と 100 円以上の開きがあった。改定された最低賃金と採用時の平均時給の差額が一番大きかったのは、「東京」の +177 円と最大だった。

一方で、「青森」(984 円)、「秋田」(990 円)、「鹿児島」(991 円)の 3 県は最低時給の平均が 1,000 円を下回った。特に、「青森」は改定された最低賃金と採用時の平均時給の差額が最小で、その差額は +31 円であった。なお、「秋田」「鹿児島」も +30 円台後半の差額となっており、地方において差額が小さくなる傾向が表れた。

都道府県別の最低時給は、地域間の格差が顕著に表れるとともに、2024 年度の最低賃金時間額と採用時の最低時給との間に乖離がみられた。

最低賃金と採用時の最低時給～都道府県別～

都道府県	2024年度最低賃金時間額	採用時最低時給(平均値)	差額
北海道	1,010	1,116	106
青森	953	984	31
岩手	952	1,032	80
宮城	973	1,066	93
秋田	951	990	39
山形	955	1,025	70
福島	955	1,040	85
茨城	1,005	1,100	95
栃木	1,004	1,093	89
群馬	985	1,115	130
埼玉	1,078	1,205	127
千葉	1,076	1,202	126
東京	1,163	1,340	177
神奈川	1,162	1,277	115
新潟	985	1,055	70
富山	998	1,146	148
石川	984	1,071	87
福井	984	1,077	93
山梨	988	1,058	70
長野	998	1,079	81
岐阜	1,001	1,153	152
静岡	1,034	1,138	104
愛知	1,077	1,208	131
三重	1,023	1,085	62
滋賀	1,017	1,080	63
京都	1,058	1,153	95
大阪	1,114	1,269	155
兵庫	1,052	1,160	108
奈良	986	1,088	102
和歌山	980	1,054	74
鳥取	957	1,000	43
島根	962	1,048	86
岡山	982	1,111	129
広島	1,020	1,108	88
山口	979	1,090	111
徳島	980	1,013	33
香川	970	1,051	81
愛媛	956	1,030	74
高知	952	1,047	95
福岡	992	1,131	139
佐賀	956	1,062	106
長崎	953	1,036	83
熊本	952	1,069	117
大分	954	1,076	122
宮崎	952	1,017	65
鹿児島	953	991	38
沖縄	952	1,045	93
全体	1,055	1,167	112

注1: 2024年度最低賃金時間額は「地域別最低賃金の全国一覧」(厚生労働省ホームページ)

注2: 採用時最低時給(平均値)は、小数点第1位を四捨五入したもの

注3: 集計可能な企業を対象に算出

注4: 青色の網掛けは「全国」を除く値が大きい上位3都道府県、赤色の網掛けは下位3都道府県を示す

まとめ

本調査の結果、静岡県内に本社を置く企業が従業員を採用するときの最低時給の平均は 1,138 円となり、2024 年改定後の最低賃金の 1,034 円を 104 円上回った。最低賃金での募集では継続的な従業員の確保が難しいため、最低賃金を上回る金額に引き上げざるを得ない企業が多いと考えられる。また、全国的には物価の違いなどにより、地域間での格差が顕著に表れ、2024 年度の最低賃金時間額と採用時の最低時給との間に乖離が生じていることが確認された。

物価上昇が続くなかで「従業員の給料を上げることで消費を促す必要がある」といった声がある一方、「130 万円の壁を超えないようにするため、労働時間を意図的に抑える従業員が増え、人手不足が加速する」という声も多数寄せられている。

政府は、最低賃金の引き上げを続けるだけでなく、人手不足や価格転嫁への対応、社会保障制度の改定など、企業の経営状況がひっ迫しないよう政策を打ち出していくことが求められる。

〈参考〉企業からのコメント

- ・労働者の賃金が上がることは良いことだと思いますが、経営側にとってはコストが増えるのでそれに見合った売り上げを上げないといけない。少子高齢化で厳しい中どうすればコストを吸収できるのか思案している (繊維・繊維製品・服飾品小売)
- ・従業員の生活コストを考慮すれば上がるの当然と思われる (専門商品小売)
- ・最低賃金のアップは正社員の給与、残業、賞与すべてに影響する (機械・器具卸売)
- ・中小企業にとって、ここ数年連続の大幅な最低賃金引き上げは死活問題である。ただでさえ人手不足で仕事が受けられない状況下で、さらに人材流出により受けられる仕事が減ってしまう (パルプ・紙・紙加工品製造)
- ・労働者の生活を守るために最低賃金を引き上げることは理解できるが、それだけに頼らず所得税減税も行うべきである (化学品製造)
- ・正社員の昇給は当たり前となり、非正社員の時給も年々高騰し売り上げに比例しなくなっている。売り上げの中に占める人件費の割合も高くなっていて、非常に厳しい (エンターテインメントサービス)
- ・少し急激過ぎる。客先との交渉が増え困難さが増した (人材派遣・紹介)
- ・ドライバーは時給制のため、毎年の最低賃金上昇に合わせて時給の調整が必要となり、この要因の賃金上昇がどこまで続くか不安である (医療・福祉・保健衛生)
- ・パート職員の力量と勤務状況に応じた単価が設定しにくい (その他サービス)
- ・利益が見込めれば賃上げはできるけど、現状では材料費の高騰で利益が確保できないため最低賃金の改定はかなり厳しい (農・林・水産)

【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 静岡支店 担当：竹岸 隆浩

TEL:054-254-8301 FAX:054-254-6602

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。